

7月31日(月曜日)
ドル/円・豪ドル/円
ユーロ/円・ポンド/円

ドル安継続の公算

28日(金)の為替相場



期間：28日(金)午前6時10分～29日(土)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 豪4-6月期生産者物価指数は前年比+1.7%と、1-3月期(+1.3%)を上回った。
- ② 米上院でオバマケアの一部撤廃法案が、49対51の反対多数で否決された。これを受けて一時ドル売りが優勢となった。
- ③ 独7月消費者物価指数が前年比+1.7%と予想(+1.5%)を上回り、4月以来の高い伸びを示した。
- ④ 米4-6月期国内総生産(GDP)は前期比年率+2.6%と、前期(+1.4%→+1.2%に修正)から伸びが加速するも、予想(+2.7%)に届かなかった。米4-6月期雇用コスト指数が前期比年率+0.5%と予想(+0.6%)を下回った事も重石となり、ドル/円は一時110.80円台まで下落した。
- ⑤ 国際通貨基金(IMF)が「ドルの実質実効為替レートは、米国の中期的ファンダメンタルズと照らし合わせると10-20%過大評価されている」との見方を示した事や、「北朝鮮がミサイルを発射(後に米国防総省が大陸間弾道ミサイルであったと発表)」との報道により、ドル売りが優勢となった。これを受け、ドル/円は110.60円台まで一段安となった。

28日(金)の株・債券・商品市場

外為注文情報(ドル/円)

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
19959.84 (▼119.80)	5702.818 (▼82.192)	3253.240 (△3.459)	7368.37 (▼74.64)	12162.70 (▼49.34)
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
21830.31 (△33.76)	0.0760% (△0.0030)	2.684% (▼0.005%)	1.218% (△0.015)	0.542% (△0.006)
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.3472% (▼0.0159)	2.2889% (▼0.0214)	49.71 (△0.67)	1275.30 (△8.80)	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.000-111.200	129.200-130.700	87.700-88.900	144.400-146.100

【ドル/円】

28日のドル/円は、月初来安値を更新するなど軟調な展開となった。米4-6月期雇用コスト指数の鈍化や北朝鮮による大陸間弾道ミサイル(ICBM)の発射実験などが重しとなり、一時110.50円台まで下落して6月15日以来の安値を付けた。

米連邦準備制度理事会(FRB)の追加利上げに対する不透明感やトランプ米大統領の経済政策実施に対する懐疑的な見方がドルの重しとなっており、ドル/円は本日も上値の重い展開が見込まれる。日足一目均衡表の雲下限(110.410円)を下抜けると110円ちょうどの心理的節目を試す流れになるだろう。

もっとも、28日のNY市場では北朝鮮のミサイル発射などにもかかわらずNYダウ平均が史上最高値を更新しており、投資家のリスクテイク志向が弱まる様子は見られない。本日も世界的な株高基調が続くようなら、円安主導で日足一目均衡表の雲上限(111.248円)前後まで反発する余地はありそうだ。

執筆者: 神田

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
7/31(月)	10:00	○	(中国) 7月製造業PMI	51.7	51.5
	10:00		(中国) 7月非製造業PMI	54.9	—
	15:00		(独) 6月小売売上高指数(前月比)	+0.5%	+0.2%
	18:00		(ユーロ圏) 6月失業率	9.3%	9.2%
	18:00	◎	(ユーロ圏) 7月消費者物価指数(HICP)・速報(前年比)	+1.3%	+1.3%
	22:45	○	(米) 7月シカゴ購買部協会景気指数	65.7	60.0
	23:00		(米) 6月中古住宅販売保留件数指数(前月比)	-0.8%	+1.0%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。